

がれきに花を咲かせようプロジェクト 保原高校

活動通信
NO. 24
2014.5.8

★今年度初の訪問活動実施★

仮設に花を咲かせよう！

壁画制作プロジェクト⑪



5月3日（土）、初夏のような陽気の中で制作を行いました。場所は国見町にある大戸仮設住宅です。

こちらでは飯館村の住民のみなさんが避難生活をされています。デザインのご要望をお聞きしたところ「飼っていたペットが死んでしまったので動物を描いて欲しい」というお話を頂きました。自然豊かな飯館村の風景や動植物をモチーフに、美術部員全員が考えたデザイン案を複数構成し、今回のデザインが生まれました。

参加した部員は29名。経験豊富な上級生が新入部員の指導に当たりながら全員で協力して描いた壁画は合計9ヶ所。村の花「ヤマユリ」や村の鳥「ウグイス」、

その他の動植物が生き生きと描かれ、完成する前から見に来てくださる住民の方々がとても喜んで下さっていたのが印象深かったです。



「いつか飯館村に帰れる日まで、この絵を見て元気に過ごしていきたい」と、自治会長さん。丸一日の制作はとても疲れましたが、この言葉を耳に出来て、清々しい気分一杯になりました。仮設のみなさん、またお会いしましょう！

新聞に掲載されました



←福島民報 (5/5)



↑福島民友 (5/4)



↑読売新聞 (5/6)
※全国版です

【プロジェクト(PJ)活動の予定】

5月案

「2014 原発作業員のみなさんを応援する絵手紙+α」(東電へ)
「花がれき壁掛け贈呈訪問」(旧佐原小仮設住宅：福島市)

6月案(詳細未定)

「壁画PJ 1 2」

仮設訪問活動 ※国見町と川俣町を検討しています。

7月案

「伊達市仮置場絵画」制作

♥ 美術部では毎週火曜日を「PJ 活動日」とし、主に訪問活動などのための準備を行っています。また、私達を支援して下さる方々や支援団体様へお礼をするための制作活動なども行っています。